資料7

# 広域避難場所の見直しについて (状況報告)

茅ヶ崎市 市民安全部 防災対策課

#### 1. 見直しの背景

- 〇木造家屋が密集し、延焼火災のリスクが高い。
- 〇昭和50年代に7カ所の広域避難場所を指定。
- 〇指定から40年近く経過し、周辺環境が 大きく変化。
- 〇法改正により、災害種別ごとに 緊急避難場所を指定することに。
- ○現行広域避難場所の 安全性を検証する必要。
- 〇H29.1より防災会議専門委員 の意見を伺いながら検証。
  - ※巻末委員名簿参照

## 2. 茅ヶ崎市の火災危険度

■地震による地域危険度測定調査報告 (茅ヶ崎市、平成25年度)

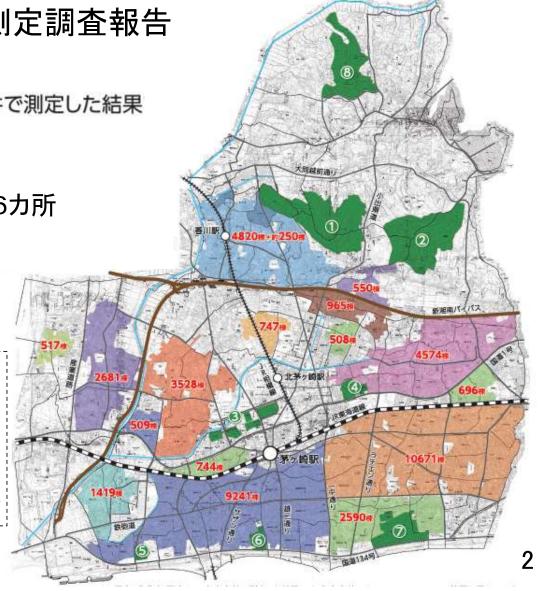
※風向:北北東 風速6mの気象条件で測定した結果

500棟以上のクラスターが16カ所

※最大10,671棟

#### ※クラスター

範囲内の建物から1件でも出火し、消火活動を行わず、そのまま放置した場合、その中の建物すべてが焼失する建築群。



#### 2. 茅ヶ崎市の火災危険度

■神奈川県地震被害想定調査報告書(神奈川県、H27.3)

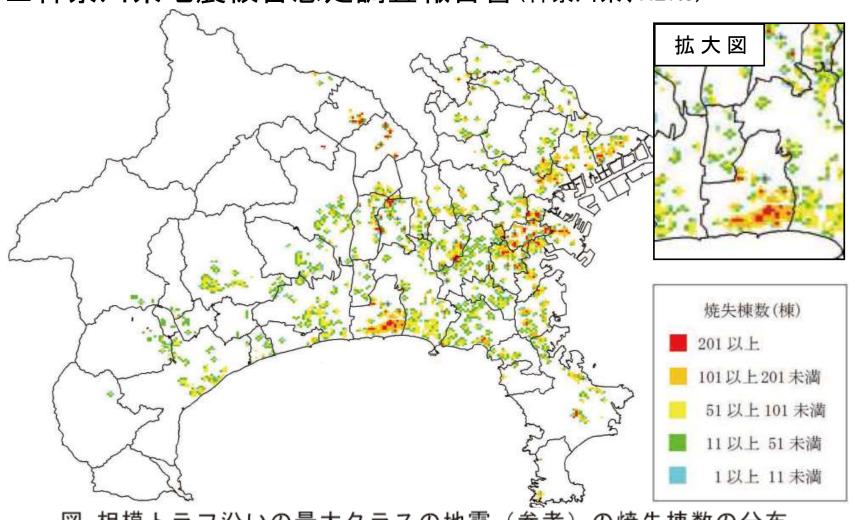


図 相模トラフ沿いの最大クラスの地震(参考)の焼失棟数の分布

#### 2. 茅ヶ崎市の火災危険度

■首都直下地震被害想定(中央防災会議首都直下地震対策検討WG、H25.12)

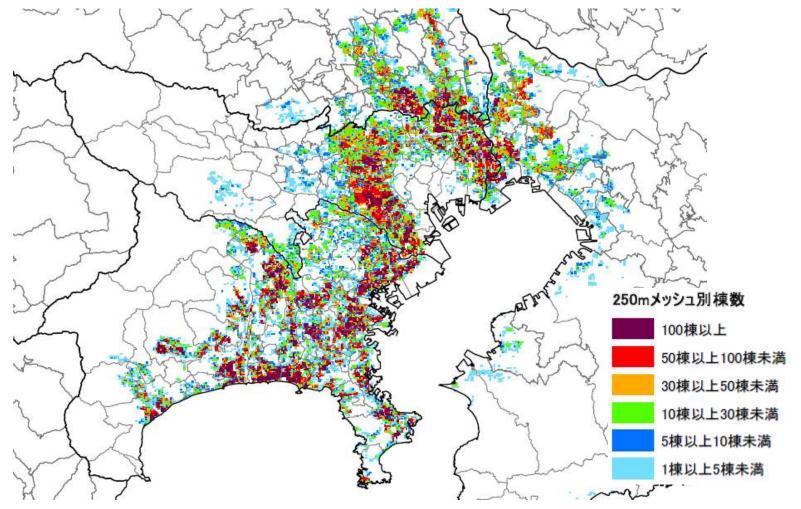
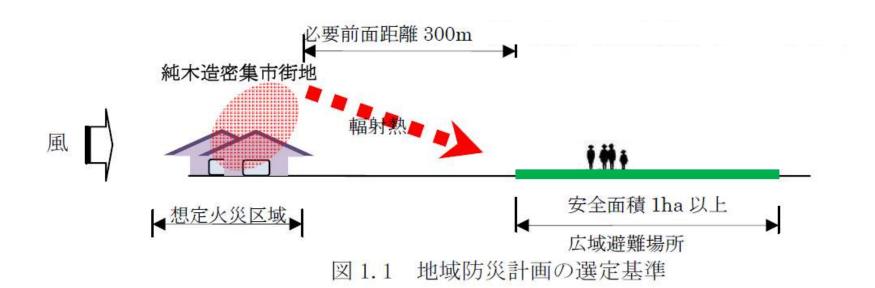


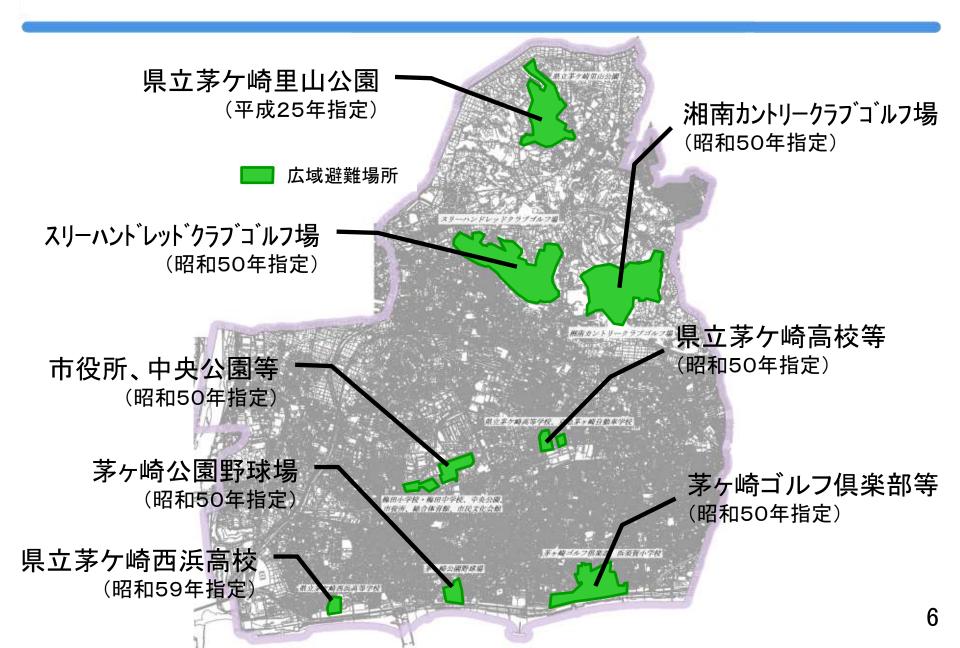
図 250mメッシュ別の焼失棟数(大正関東地震タイプの地震、冬夕、風速 8m/s)

## 3. 茅ヶ崎市の広域避難場所

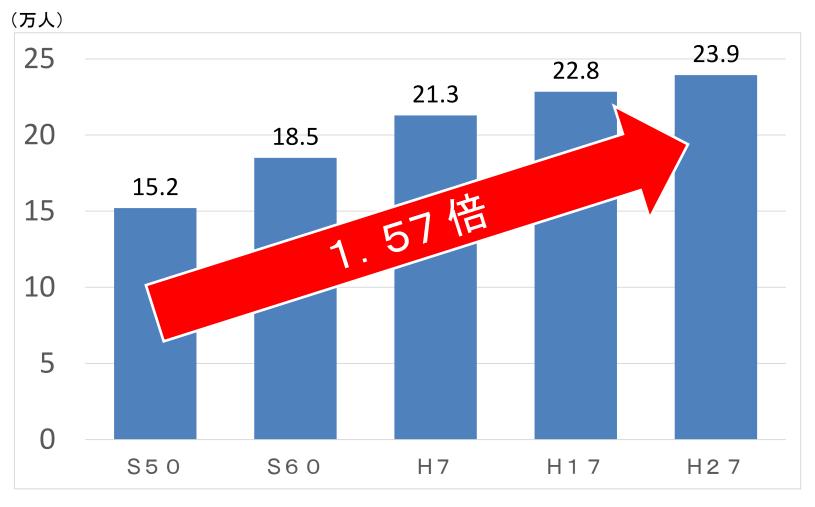
茅ヶ崎市では、火災の輻射熱や煙から緊急的に身を守る場所として、神奈川県大震火災避難対策計画(神奈川県防災会議、S46.8)に基づき、木造密集市街地から300m以上離れている10,000㎡(1ha)以上の公園緑地や学校グラウンド等の空地から指定しています。(茅ヶ崎市地域防災計画、H27.11)



## 3. 茅ヶ崎市の広域避難場所



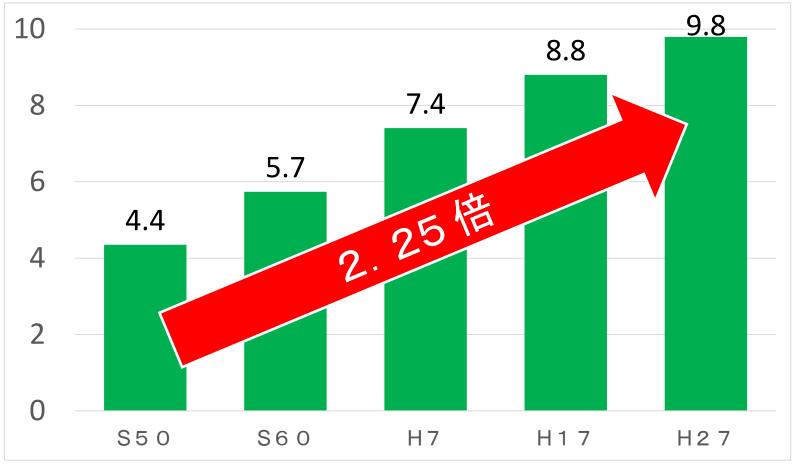
■茅ヶ崎市の人口の変化(昭和50年から平成27年)



出典:「茅ヶ崎の人口と世帯」(茅ヶ崎市)

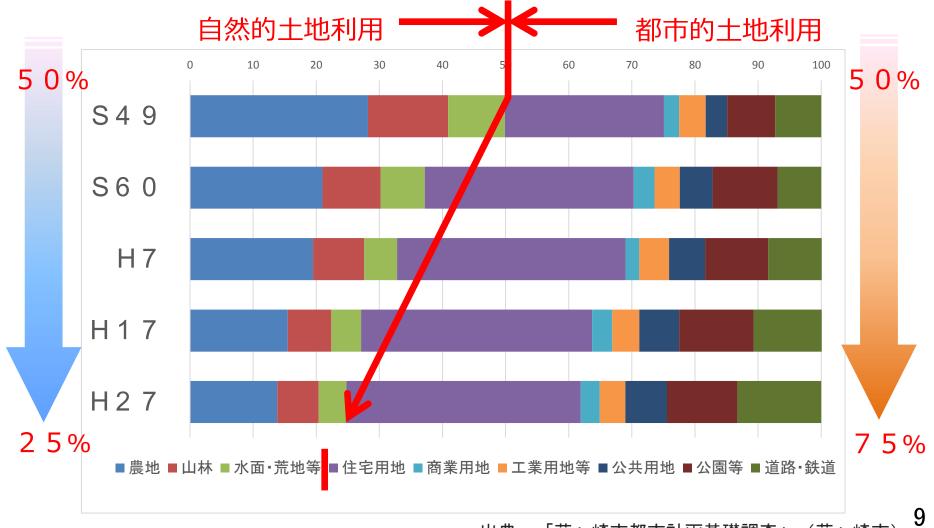
■茅ヶ崎市の世帯数の変化(昭和50年から平成27年)

(万世帯)



出典:「茅ヶ崎の人口と世帯」(茅ヶ崎市)

#### ■茅ヶ崎市の土地利用の変化



出典:「茅ヶ崎市都市計画基礎調査」(茅ヶ崎市)

■広域避難場所の周辺環境の変化 出典:国土地理院地図・航空写真閲覧サービス



■広域避難場所の周辺環境の変化 出典:国土地理院地図・航空写真閲覧サービス

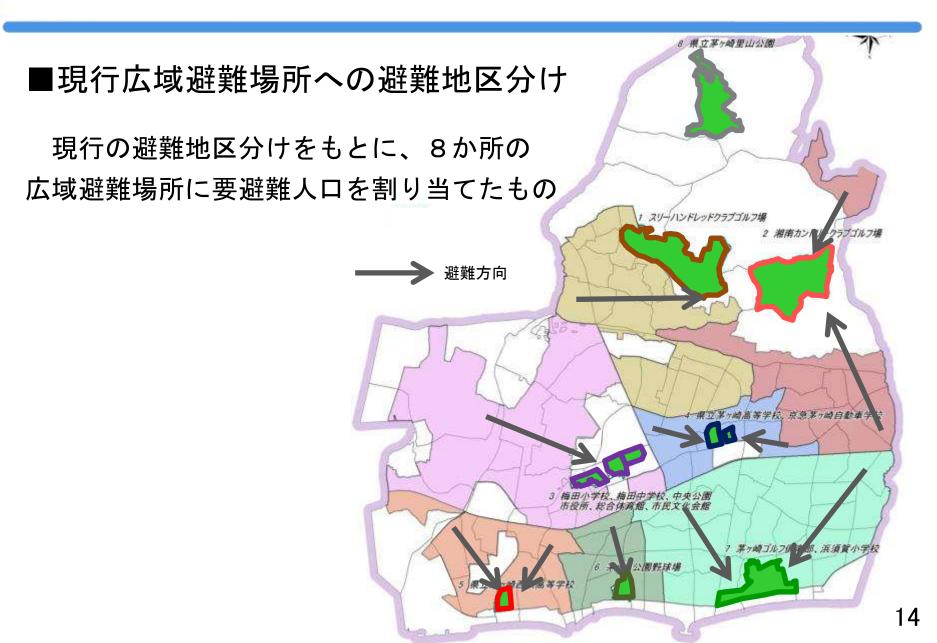


■広域避難場所の周辺環境の変化

- 〇人口増に伴い、農地等のオープンスペースが減少
  - $\downarrow$
- 〇広域避難場所周辺にも木造家屋が密集
  - $\downarrow$
- 〇周辺の延焼火災のリスクが高まる(輻射熱の影響が増)
  - $\downarrow$
- 〇現行、広域避難場所の再検証が必要

#### ■避難有効面積、収容定員の変化

No.	名称	現行 避難有効面積(㎡) (収容可能人数、人)	検証結果 避難有効面積(㎡) (収容可能人数、人)	差 (㎡) (人)	対現行比 増減率 (%)
1	スリーハント゛レット゛クラフ゛ゴ゛ルフ場	<b>481,600</b> (240,800)	<b>469,071</b> (234,530)	-12,529 (-6,270)	<u>97.40</u>
2	湘南カントリークラフ゛ゴルフ場	640,000 (320,000)	552,352 (276,170)	-87,648 (-43,830)	<u>86.31</u>
3	市役所、中央公園等	<b>71,363</b> (35,680)	<b>74,208</b> (37,100)	+2,845 (+1,420)	103.99
4	県立茅ケ崎高校等	<b>27,083</b> (13,540)	<b>14,184</b> (7,090)	<b>—12,899</b> ( <b>—6,450</b> )	<u>52.37</u>
5	県立茅ケ崎西浜高校	<b>25,202</b> (12,600)	<b>17,425</b> (8,710)	<b>—7,777</b> ( <b>—</b> 3,890)	69.14
6	茅ヶ崎公園野球場	<b>34,205</b> (17,100)	<b>24,251</b> (12,120)	-9,954 (-4,980)	70.90
7	茅ヶ崎ゴルフ倶楽部等	<b>176,192</b> (88,090)	<b>120,262</b> (60,130)	-55,930 (-27,960)	68.26
8	県立茅ケ崎里山公園	<b>123,062</b> (61,530)	<b>135,429</b> (67,710)	+12,367 (+6,180)	110.05
	<b>승</b> 計	<b>1,578,707</b> (789,340)	1,407,182 (703,560)	<b>—171,525</b> ( <b>—</b> 85,780)	89.14



■現行広域避難場所の課題 南部、西部、中央部で1人当たり の避難面積が不足 スリーハンドレッドクラブゴルフ場 2 湘南カントリークラブゴルフ場

15

#### ■避難面積(m²/人)の算定

No.	名称	使用可能面積 (㎡)	要避難人口 (人)	避難面積 (㎡/人)	最大避難距離 (km)
1	スリーハント゛レット゛クラフ゛ゴルフ場	481,824	33,561	14.4	2.9
2	湘南カントリークラブゴルフ場	553,833	29,007	19.1	<u>3.0</u>
3	市役所、中央公園等	73,484	54,098	<u>1.4</u>	<u>4.3</u>
4	県立茅ケ崎高校等	14,648	12,686	<u>1.2</u>	1.6
5	県立茅ケ崎西浜高校	17,512	17,541	<u>1.0</u>	<u>3.0</u>
6	茅ヶ崎公園野球場	24,718	13,482	<u>1.8</u>	1.4
7	茅ヶ崎ゴルフ倶楽部等	119,873	59,764	2.0	2.6
8	県立茅ケ崎里山公園	314,571	_	_	_
	合計	1,600,463	220,139	7.3	_

<sup>※</sup>避難面積(m²/人)は、「使用可能面積÷要避難人口」で算出。1人当たり2. Om²以下を赤で表示した。

<sup>※</sup>最大避難距離は、広域避難場所の入口から最も離れた地区割りの地点からの道のりで算出。3km以上を赤で表示した。

- ■現行広域避難場所の課題
- 〇周辺に木造家屋が増加した結果、安全面積が減少
- 〇南部、西部、中央部で1人当たりの避難面積が不足
- 〇避難距離が長い
- ○河川を横断した避難が必要
- 〇津波警報等が発表されている場合、<u>市中央部に避難</u>者が集中するおそれ

#### 6. 新規指定の基本的な考え方

茅ヶ崎市では、現行の広域避難場所の課題を踏まえ、より**身近な場所**に広域避難場所を確保するため、以下の考え方に基づき新規指定箇所を検討することに。

#### ■新規指定の基本的な考え方

- 〇避難面積が概ね10,000㎡以上確保できる場所
- 〇避難者1人当たり2㎡以上の避難面積を確保
- 〇避難距離をできる限り2km以内に収める
- 〇避難途上での踏切や規模の大きな河川の横断をできる限り避ける
- ○市中央部にできる限り広域避難場所を確保する



#### 7. 広域避難場所の新規指定

■広域避難場所の新規指定に向けて

「新規指定の基本的な考え方」のもと、 広域避難場所の新規指定に向け、 公共施設のほか民間施設も含め、 指定に向け協議。

#### ■今後のスケジュール

- 〇~3月 各施設管理者と指定の同意、協定の締結
- ○3月 指定緊急避難場所の指定
- ○4月~ 避難場所の周知

